別紙第６

防災資器材の取扱・点検実施計画（例）

令和　　年度　　　自主防災組織　防災資器材の取扱・点検実施計画

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 内　　容 |
| 日　時 | 令和　　年　　月　　日（　曜日）　　：　　　～　　：　　迄 |
| 場　所 | 　　　　自治会公民館　　出水市　　　町　　　　番　　　　号 |
| 参加者 | 自主防災組織役員及び自主防災組織会員 |
| 参加機関 | 消防団　　分団 |
| 訓練目的 | 　各種災害時において、「情報収集・伝達」、「初期消火」、「避難」、「救出・救護」、「給食・給水」などの活動及び防災訓練等に必要な防災資器材の取扱と点検ができるよう、会員に周知するとともに、自主防災組織として必要な資機材の取得・更新について協議し、自主防災組織への参画意識の高揚を図る。 |
| 災害想定 | 地震または大雨等による土砂災害、大雨・津波等の浸水など想定される全ての災害 |
| 訓練内容 | 【防災資器材の取扱要領・機能点検】１　下表資器材の取扱要領及び機能点検２　自主防災組織の特性を踏まえて総会等で、新規調達・更新について協議し整備する。

|  |  |
| --- | --- |
| 目的別 | 防災資器材（例） |
| 情報 | 携帯用無線機・トランシーバ、拡声器、腕章、住宅地図、コピー用紙、筆記具、付箋紙、図板、テレビ、ラジオ、自治会広報用放送設備、ホワイトボード |
| 初期消火 | 消火器、消火用バケツ、消火砂、ホース、防火水槽、鳶口、ヘルメット |
| 避難 | 携帯トイレ、寝袋、発電機、バッテリー、リヤカー |
| 救出救護 | 土工具、工具、担架、救急箱、毛布、簡易ベッド、強力ライト、シート、ロープ |
| 給食給水 | 炊飯器具、鍋、ガスコンロ、ガスボンベ、給水タンク、水のう、アルファー米、保存水 |
| 訓練 | ＰＣ、プロジェクター、（出前講座時に借用） |
| その他 | 簡易倉庫、ビニールシート |

 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 内　　容 |
| 訓練内容 | ３　その他の留意事項　⑴　各家庭でも消火器・消火バケツ・消火砂等の準備を啓発　⑵　地域内にＡＥＤがあれば、設置位置を掌握しておく。　⑶　近隣や地区内の自主防災組織、団体、事業所等と保有物品や調達先等に関する情報共有、相互借用・貸出に関する協議【土のう作製・堆積】１　出水市消防本部による出前講座２　出水市消防本部の出前講座受講年度以降、地域の消防団員による展示説明及び体験、または本書「第８章第４「土のう作製・堆積要領」」を参考に、自主防災組織独自の訓練により練度を維持する。【索具】１　出水市消防本部による出前講座２　出水市消防本部の出前講座受講年度以降、地域の消防団員による展示説明及び体験、または本書「第８章第５「索具」」を参考に、自主防災組織独自の訓練により練度を維持する。 |
| 訓練時程 |

|  |  |
| --- | --- |
| ０８：００ | 訓練開始式及び訓練説明（事前説明内容を確認） |
| ０８：２０ | 訓練開始 |
| ０８：４０ | 自主防災組織で定めた行動規定の確認 |
| ０９：００～１０：１０ | 【出水市消防本部による出前講座】　参加人員数により、実施要領を２パターン【パターン１】参加者が多い場合（30人以上）　参加人員を３つのグループに区分し、下記項目を１項目あたり２０分で実施し、終了後、別の項目を受講する。　途中１０分間の休憩を含む。１　防災資器材の取扱要領・機能点検２　土のうの作製・堆積要領３　索具【パターン２】参加者が少ない場合（10人以下）　全員に対して、上記項目を１項目あたり２０分で実施する。（途中１０分間休憩） |
| １０：１０ | 質疑応答後、訓練終了式、解散 |

 |